

令和7年度第2回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和8年1月26日(月)
午後1時30分から午後2時15分まで

場 所 茂原市役所1階 101会議室

出席者 委員 14名

深山委員、鶴野委員、三橋委員、清水委員、高山委員、平見委員、丸岡委員、平井委員、鈴木委員、白土委員、佐藤委員、大石委員、白井委員、高山委員(代理:加藤)

事務局 5名

都市計画課 白鳥課長、錦織補佐、江澤係長、小関副主査、長谷川主事

会議内容(進行:錦織補佐)

1 開会 午後1時30分

2 会長あいさつ

3 議事

(1) デマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の利用状況について

<質疑>

委 員:市民バスには定期券はないのか。バス会社によっては70歳以上の方が半年間乗り放題のサービスがある。

事務局:市民バスは定期券の発行はしていない。

委 員:今後、導入を検討する考えはあるのか。

事務局:定期券はないが、回数券であれば100円券と200円券を販売しており、それぞれ1枚分お得に購入できる。

委 員:2点ある。1点目はデマンド登録者数について、運転経歴証明書所持者の登録者数がどの程度増加しているのか知りたい。2点目は市民バスとデマンド交通の収支率について、交通計画に目標値が設定してあるのか確認したい。

事務局:1点目については、手元に資料がないため次回の会議等で説明させていただきたい。

委 員:障害者や運転経歴証明書所持者は特に利用頻度が高いと思われるので、どれだけ運転経歴証明書所持者が増えて利用に結びついているかなどがわかれば次回の会議でお願いしたい。

事務局:2点目については、令和10年度までに市民バスは20.7%、デマンド交通は18.5%まで改善することを目標としている。

委 員:現時点での収支率が目標に対してどの程度の位置づけなのかを明記してもらえると委員の方々の理解が深まると思う。資料には99.5人という1日当たりの目標値しか記載されていない。

委員：免許返納者数について、なぜ茂原市の免許返納者数が記載されていないのか。

事務局：茂原警察署では、茂原市だけでなくどこの市町村の方でも免許返納ができるため、市町村ごとに人数の集計をしていないと伺っている。

委員：茂原市以外の方が多少含まれていたとしても、最も身近な数字を知るのは重要だと思う。今後、市民バスやデマンド交通の利用促進を図る上でも、免許返納者数の集計について検討してもらいたい。

事務局：茂原警察署と相談しながら検討していきたい。

委員：市民バスは現金での利用が多いが、理由について分析しているか。

事務局：推測になるが、デマンド交通は登録が必要になるためリピーターが多く、市民バスは登録が必要なく、どなたでも利用できるため現金が多いのではないかと考えられる。

(2) 地域内フィーダー系統及び地域間幹線系統の事業評価について

<質疑>

委員：市民バスとデマンド交通の目標値が同じなのはなぜか。

事務局：交通計画では合算した数値を目標値としているため。

委員：合算した数値であることがわかるように記載した方がよいのではないか。

事務局：そのように修正する。

委員：デマンド交通エリア拡大について検討するとあるが、検討内容を教えてもらいたい。利用者から市外の塩田病院へ行きたいとの声をよく聞く。どこまでエリアを拡大するのか。

事務局：交通計画にも記載のあるとおり、市民バスの北部コースを廃止し、デマンド交通エリアへ転換することを考えている。

委員：以前から協議していた豊岡地区までデマンド交通エリアを拡大することを記載しているという意味であり、エリア外や市外まで運行エリアを広げるという意味ではないとい認識でよいか。

事務局：その認識で間違いない。

委員：市民バスが減るということか。

事務局：その通り。北部コースが廃止となる。

採決の結果、全会一致にて承認

4 その他

5 閉会 午後2時15分